

## 議員定数の削減等について視察

(1月29日～30日  
…静岡県三島市・焼津市)

三島市では、平成17年12月から平成18年6月まで第1次の議会改革検討特別委員会が開催されました。自治体連合会役員会から「議員定数の削減」について申し入れがあり、議員定数を議題とし検討することになったそうです。自治会連合会役員や市民から直接意見を聞く会を行うなど、検討の結果、賛成多数により定数を2議席減らし、24名としました。また、第2次議会改革検討特別委員会は、平成19年6月から平成20年6月まで開催し、常任委員会の数を4委員会から3委員会に減らし、定数を8名にしたことや、スムーズな議事運営を図るため、1回あたりの質疑の時間を概ね3分以内に制限すること等を決定したとのことでした。

焼津市では、平成17年9月から平成18年8月まで議員定数等調査特別委員会が開催されました。自治会連合会から議員定数の削減に関する要望書が提出されたことを受け、直接話し合いも開催されたそうです。議員定数については、議員数を削減するか、現状維持かで議論が交わされました。賛成の意見

としては、行財政改革のため議員自ら削減に取り組む必要があり、定数削減は多くの市民の要望でもあるとの意見が出され、反対意見としては、議員数を削減することは市民の声を市政に反映しにくくなる、との意見が出されました。採決の結果、賛成多数により、議員定数は21人の結論に達したとのことであります。また、常任委員会については、現行4委員会を1委員会減らして3委員会としました。



焼津市役所にて

## 市発注工事遅延等調査特別委員会報告

平成19年度の地方特定道路整備事業 福岡・鶴巻線(2工区)道路改良工事、まちづくり交付金事業 二本松・安達線側道歩道設置工事及び公共下水道事業舗装復旧工事(補助その1)の3工事が年度を越えた遅延工事となり、工事成績評定表や工事検査調書を虚偽記載、公文書を偽造作成し、これを隠ぺいする事務処理が行われていたことが発覚した。

これを受け、平成20年9月定例会において、地方自治法第100条に基づく委員会を設置し、平成19年度末に起こった3件の遅延工事の原因と虚偽公文書作成となったその事務処理について調査することとした。

委員会は、10月10日以降、市長をはじめ、関係者に対する参考人招致等を行い、12回にわたる調査にあたった。

3件の遅延工事に共通する問題点は、請負業者が工事請負契約約款の遵守という認識が希薄であり、契約工期内に工事完成に努めるという当然の努力義務を怠ったところであり、猛省を求める。

市側は、契約工期内竣工に向けての工程管理の徹底が図られず、職務遂行に気の緩みがあった。

たとえ厳しい財政状況下であり、補助事業を最大限に活用したいとの措置であったとしても、今回の事務処理は決して市の発展、市民福祉の向上にはつながらない。

法令に基づき職務を遂行する公務員として深く反省し、今後は襟を正して事務処理に当たることを強く望む。

また、三保恵一市長は、虚偽公文書作成に携わったという認識はないとしているが、自らが決裁した事務処理の最高責任者としてあまりにも無責任な発言であり、猛省を求める。

再発防止については、市側は、請負業者に対し工程管理を徹底するとともに、年間を通して工事発注の平準化を図り、早期発注に努める必要がある。

また、請負業者は、意識改革、工事請負契約の厳守と工程管理の徹底を図り、さらに入札参加資格制限措置要領を深く認識し工事の施工にあたる必要がある。

当委員会の調査結果が、市並びに請負業者の意識改革につながり、公共工事の円滑な事業執行が図られ、市民の福祉向上に大きく貢献することを願う。

# 常任委員会の審査報告

## 総務常任委員会

### 平成21年度二本松市一般会計予算について

問 地方交付税が前年比べて伸びている理由は何か。

答 国の地方財政対策の中で地方税の減収分を補てるために地方交付税の総額が増額されたためである。

問 行政評価の導入について予算措置されているが今後どのように進めていくのか。

答 幹部職員の研修会、全職員を対象とした事務事業評価の講習会等を開催し、行政評価の効果を予算に反映できるような一体的なシステムを構築していきたい。

問 鉄道駅バリアフリー化設備整備費補助の事業内容と市の補助の考え方を示して欲しい。

答 二本松駅にホームごとにエレベーターを1台ずつ設置する内容で、費用負担については、国の要綱に基づき、国が3分の1、県と市合わせた地方公共団体が3分の1、残りが鉄道事業者の負担となる。市の補助の額については、県補助金が交付されないことによりJR側と協議した結果、JR側の負担を増やし、総事業費の5分の1程度となったものである。

問 農商工連携促進強化事業委託料はどのような内容なのか。

答 安達町振興公社へ委託を計画し、地元農産物を利用した新商品の開発、広告宣伝及びインターネット販売の実施に伴う経費である。



東和支所の施設の説明の様子



名目津の湯の現地調査の様子

## 市民産業常任委員会

### 小学生医療費の無料化・たい肥作りサポートセンター整備事業について

問 二本松市小学生医療費の助成に関する条例制定について、10月から小学生の医療費がすべて無料になるということで良いか。

答 入院か通院によって自己負担部分が現物給付か償還払いになるが、負担は0となる。交通事故などにより第三者行為によりかかった医療費については、後から過失割合によって助成金を返還していただくことになる。

問 たい肥作りサポートセンター整備事業について、平成16年度までに10頭以上の酪農家、畜産農家は、助成を受けてたい肥舎を設置したが、有効利用されていないとの話もある。今回新たに建設するにあたり、酪農家とは話し合いの場を持ったか。

答 サポートセンターの整備については、各畜産農家、酪農団体とも話し合いを持ち、進めてきた。各農家のたい肥舎の利用率については、かなり個人差があり、有効活用されていない部分がある。その反省から、サポートセン

ターでは、あくまでかく拌する労力、不足している副資材の提供と余剰たい肥の預かりを行う。

たい肥作りについては、各畜産農家で整備したたい肥舎や機械等を活用してもらって自己完結型にして経費を抑えた。岳温泉地域には酪農家が35軒ほどあるが、半数以上の方に利用していただけていると考えている。



スカイピアあだたら全域の説明の様子

3月9日に付託された各議案は、3月12日～24日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日24日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な内容をお知らせします。

## 建設水道常任委員会

# 都市計画道路整備事業・市道路線の認定について

**問** 向原上竹線整備事業について、進捗状況と最終的な全線開通の見通しはどうか。

**答** 現在1工区までは平成21年内の完成で計画しているが、2工区については、まだ明確には計画していない。

**問** 今回の虚偽記載の関係もあり、標準工期を守って決められた工期内に完成するのは大前提となったわけだが、21年度の発注の中で、標準工期をどう確保するのか。

**答** 進行管理計画を全庁で取り組んでおり、工事については事業認可が下りた段階で直ちに入札に付すような形に持っていき、できるだけ標準工期に近い工期を取り、発注をしたいと考えている。

**問** 若宮・野辺線整備事業の現在の進捗率はどうか。

**答** 平成20年度現在で事業費総額が41億1千万円であり、全体事業費56億円に対する進捗率は、事業費ベースで74.7%である。

**問** 簡易水道の料金収入が減っている原因は何か。

**答** 市内全域について言えることだが、家庭の節水や、不景気によって大口の事業所が休んでいる分、減額となっているためである。



市道認定道路(あだたら清流センター付近)の現地調査の様子

## 文教福祉常任委員会

# 出産祝金支給条例の改正について

**問** なぜ、年度途中で金額や支給条件の変更をするのか。また、住民理解は得られるのか。

**答** 子育て支援施策の総合的な見直しの中で、限られた財源や、制度変更の周知期間の確保等を勘案し、小学生の医療費助成拡大の開始時期にあわせる事が、一番住民理解が得られると考えた。

**問** 祝い金事業の性質から、制度の変更等は、年度単位でやるべきではないか。

**答** 年度ということを十分意識した上で、小学生の医療費助成の拡大の導入と施行時期を同じくすることで、一番ご理解がいただけると判断した。



二本松第二中学校屋内運動場耐震補強工事の説明を受ける様子



二本松北小学校の耐震補強工事の説明を受ける様子